

2011年9月15日から、「ガーダシル」も子宮頸がん予防ワクチンとして公費助成金の対象になります。

新たに承認され、2011年8月26日に発売されるワクチン「ガーダシル」（製造販売元/MSD（株））が、「サーバリックス」（製造販売元/グラクソ・スミスクライン（株））とともに子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象になります。

Q1：「ガーダシル」と「サーバリックス」のどちらを選べばいいでしょうか？

↳ 「ガーダシル」と「サーバリックス」はいずれも子宮頸がんの予防効果があります。医療機関で相談し、接種できるほうを接種して下さい。どちらのワクチンも、公費助成の対象になっています。

Q2：「サーバリックス」を1回接種しましたが、2回目以降、「ガーダシル」を接種することができますか？

↳ 「ガーダシル」と「サーバリックス」は、いずれも同じワクチンを3回続けて接種することになっています。片方を接種後にもう片方を接種する場合の効果などは分かっていません。1回目に「サーバリックス」を接種した方は、2回目以降も引き続き「サーバリックス」を接種して下さい。

Q3：「ガーダシル」と「サーバリックス」の接種方法は同じですか？

いづれも3回の接種が必要ですが、接種の間隔が異なります。「ガーダシル」は初回接種から2ヶ月後

6ヶ月後に接種します。「サーバリックス」は初回接種から1ヶ月後、6ヶ月後に接種します。